



クメジマボタル

指定名称 クメジマボタル（県指定天然記念物）
所在地 地域を定めず指定
指定年月日 平成6年2月4日

1993年に発見された久米島だけに生息する新種のホタルで、幼虫は水中で生活する水生のホタルである。本種以外の国内に生息する水生ホタルはゲンジボタルとヘイケボタルだけである。体長は雌が約1.8cm、雄が約1.5cmで大きさはゲンジボタルとほぼ同じくらいである。

卵は水際のコケや朽ち木のすき間に産み付けられ、幼虫はカワニナを食べて生活する。翌年の4月に羽化し、5月上旬にかけてオスの集団発光を観察

することが出来る。また、明け方になると、雌ボタルが集団で産卵する光景が見られる。

クメジマボタルは、河川工事を受けていない自然に近い川に生息しているが、近年河川流域で様々な自然開発が行われ、急速に生息場所が減少している。